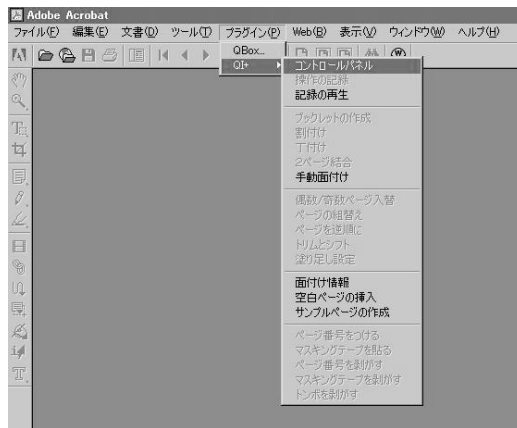


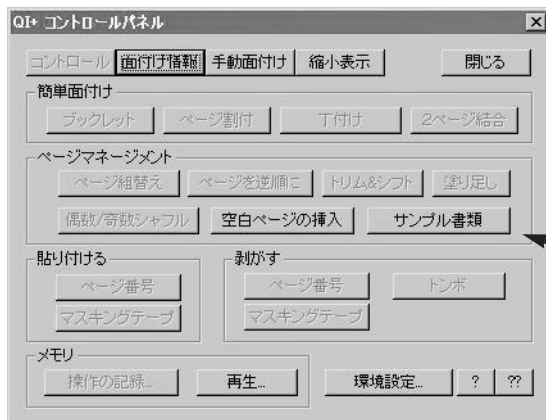
QI + クイックスタート

このクイックスタートを行うことで、QI + を使用する上での基本的な操作方法をマスターすることができます。

Acrobatを起動しプラグイン>QI + > コントロールパネルを選んでください。

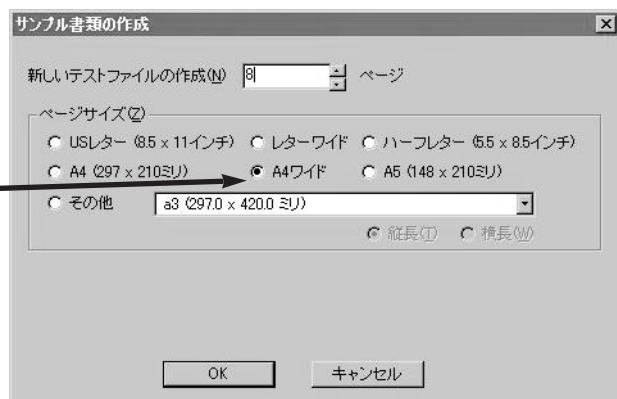


サンプル書類をクリックして下さい。新しいテストファイルの作成に8を入力、サイズはA4ワイドを選び、OKをクリックしてください。



ここをクリック

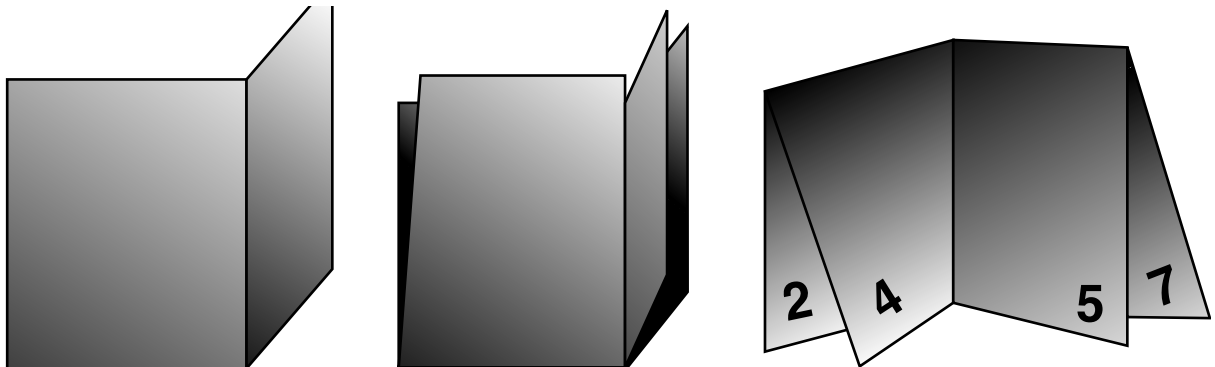
ここをクリック



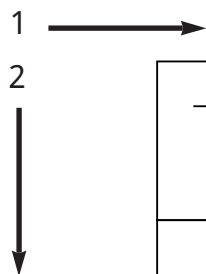
A4サイズのPDFファイルが8ページできます。
これを使用して操作を行います。

面付けを行うために、折丁を用意して下さい。
 ここでは4面付け、8P折り左開き、天袋を使用します。

白紙を用意して（A4サイズが適当です）下図の様に紙を折ります。



紙が折れたら、ページ番号を振って下さい
 折丁を開くと下記ようになります。



1	8
4	5

表

7	2
6	3

裏

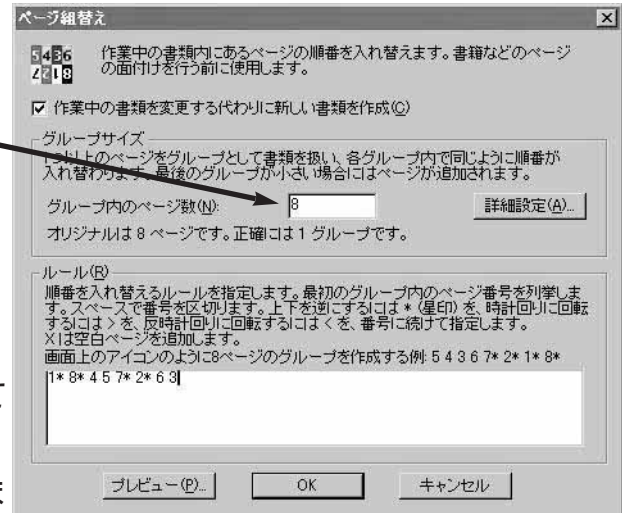
折丁を開いた時の順番を並び替えると

1 8 4 5 7 2 6 3

になります、このルールが全てに適用されます。

コントロールパネルから「ページ組換え」を選択します

表裏 8 ページで 1 つのグループ
ですので 8 を入力します



この部分に折丁の順番に数字を入力して
いきます

先程作成した折丁の通りに数字を入れま
す 1 * 8 * 4 5 7 * 2 * 6 3

Tips : ページの向きを替えるには < > * 記号を使用します
最大255文字まで入力できます (約64ページ)

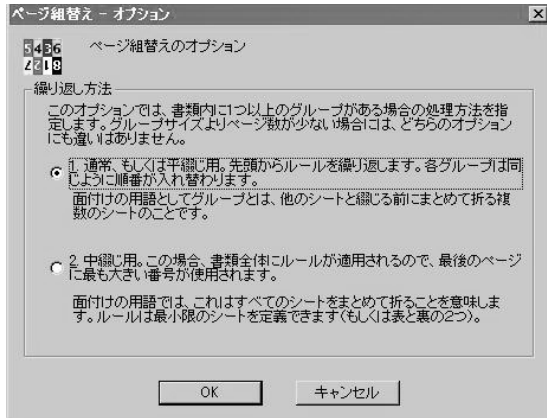
プレビューをクリックすると画面で
確認が出来ます

片面4ページですので
2列 2行を選びます
を選ぶことで、数値を変更
できます



上記の設定でOKをクリックします

詳細設定をクリック



このオプションで面付け後の綴じかたを設定します。

今回は1.通常を選びます(平綴じ)

Tips :

2.中綴じ用を選ぶとプレビューの番号順も自動的に替わります。

グループで割り切れないページについては余白が入ります。

以上で設定は終わりましたので、OKをクリックすると実際にページの順番と向きを換えます。

終了するとコントロールパネルの画面に戻ります。

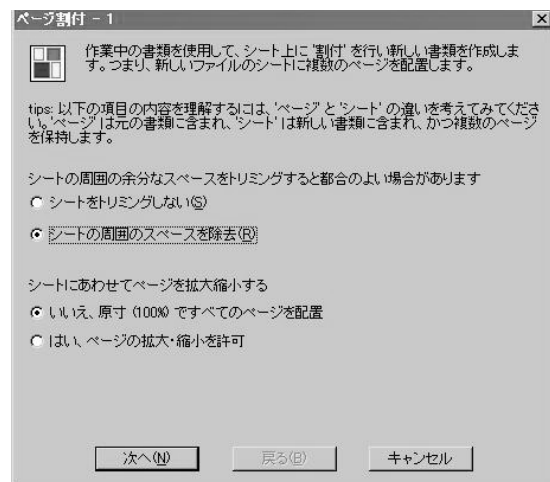
このページの順番と向きが変わったPDF書類を実際に面付け(割付け)を行います

コントロールパネルから「ページ割付」をクリックします。

ページを貼る台紙の設定をします。

シートの周囲を除去を選択し、

配置するページを拡大縮小するのを選択します。

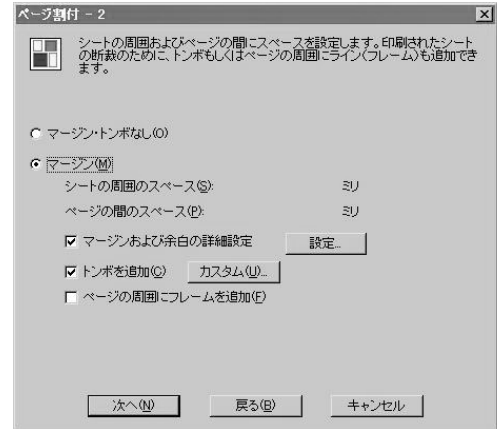


次へをクリックします

ここでページの周囲のスペースの設定とページ間のスペースを設定します。

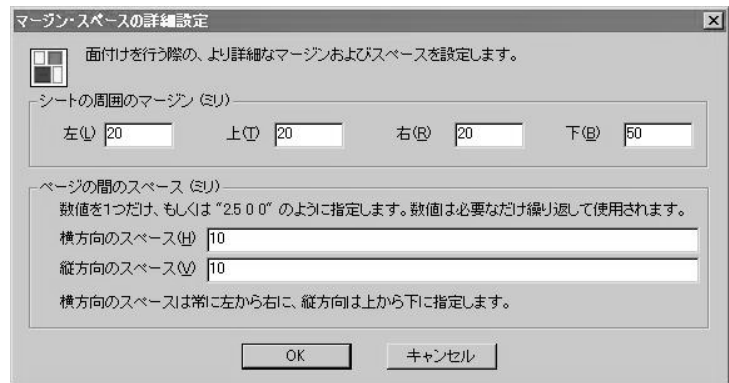
マージンをクリックして設定を選びます。

トンボもここで設定します。



ページの端から何ミリ余白を取るか入力します。

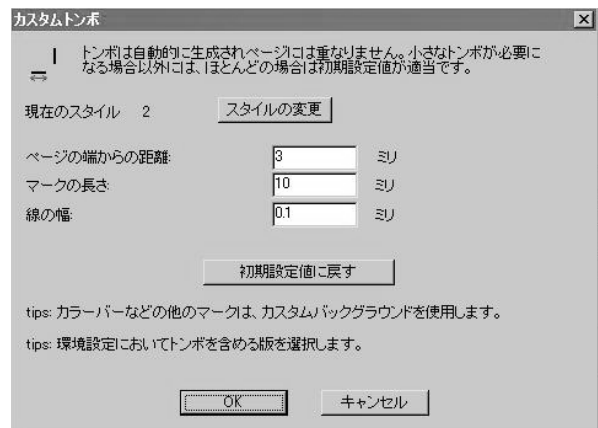
ページ間のスペースを入力します
縦方向横方向双方入力します
複数ページを割り付ける場合は数字をスペースで区切って入力します。



トンボを追加の「カスタム」をクリックします。

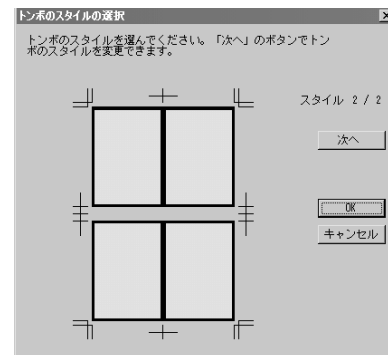
トンボの長さ、太さ、そしてページからいくら離すかを設定します。

スタイルの変更を選びます。



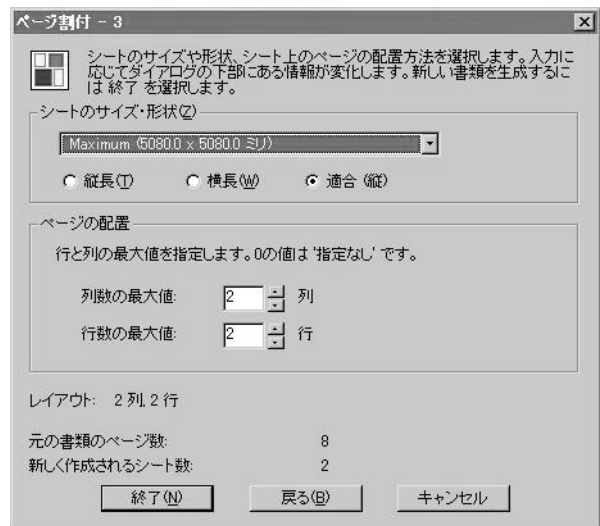
トンボの形状は「次へ」ボタンで変更できます。現在は2種類から選択できます。

設定が終わると「次へ」をクリックします。

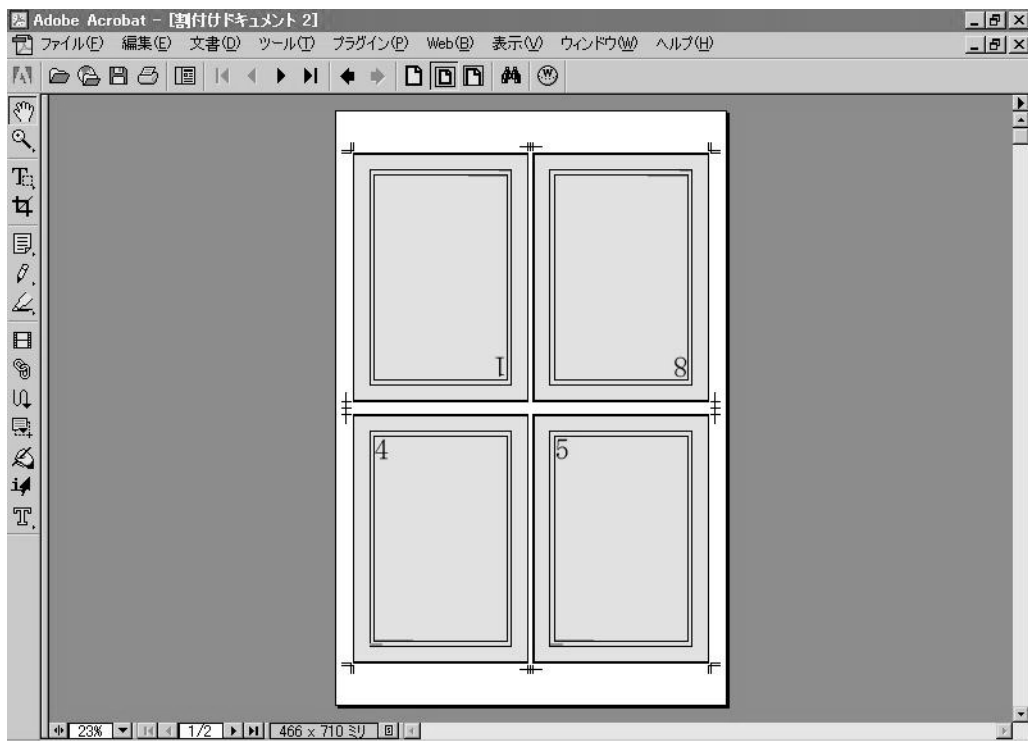


貼り付ける台紙のサイズを選択します。
今回はMaximumを選択します。
台紙の縦横を指定します。

「ページ組替え」で設定していた様に
列数と行数を指定します。



すべての設定が完了し「終了」をクリックすると処理が開始されます。

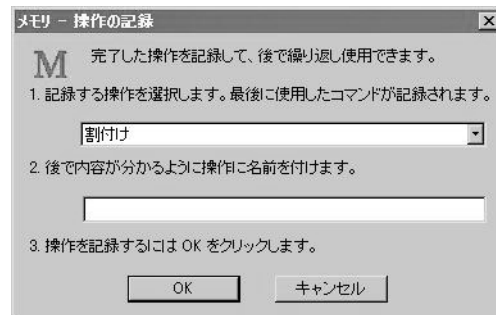


新しいIPDFファイルが作成され面付けが終了します。

面付けが終了したら、操作の記録を行いましょ。う。
コントロールパネルから、「操作の記録」をクリックして下さい。

最後に行った処理の名前が選択されて
います。

後で分かる名前を入力して下さい。



今回は「ページ組替え」と「ページ割付け」を使用しましたので両方に対して同じ名前
を付けておくと後で同じ処理が繰り返し利用できます。
今回は「8P左開き、天袋 / 平綴」と付けましょ。う。

をクリックすれば行った操作を選択できます。

コントロールパネルの再生を使用すればいつでも記録した操作を再生できます。

Tips :

Acrobatの環境設定 > 一般から使用する単位を選択できます (ポイント・ミリ・インチ)
コントロールパネル > 環境設定からトンボの色を指定できます。

実際にPDF ファイルを使用して面付けを行う場合は、塗り足しの設定やクリーブの設定
等を行ってからページ組替えやページ割付けを行います。

カスタムトンボや色玉は、QI+ では設定できませんが、事前に作成してあるPDFを取り
込みバックグラウンドとして使用できます。